

入試壮行会 あいさつ
～校長室から応援メッセージ(9)～

令和7年1月14日(火)

ウルトラマンにならい、3分以内できつとまとまるメッセージを申し上げます。

皆さん、こんにちは。共通テストがいよいよ今週末に迫ってまいりました。皆さんにとって昨年4月からの時間は一つの目標に向かって懸命に頑張ってきた一年だったと思います。また同時に模試の結果や気持ちの浮き沈みに悩んだ一年だったとも思います。

何はともあれ、間もなく本番です。テスト初日の朝は間違いなくやってきます。必ずやってきます。どうせなら自分から迎えに行く位の気持ちでいましょう。早くその日を迎えたい、そう思える日がある。これはとても幸せなことです。残念ながら私には、そう思えるような日がほとんどありません…。

ピンと張り詰めた気持ちで今を生きる自分は幸せである。皆さんには是非そのように思い込んでほしいものです。呑気なことを言って…、と叱られそうですが、しかしピンと張りつめた気持ちで生きる、そういう機会は長い人生でもそんなに多くはありません。

さて昨年4月の入学式で歌手ちあきなおみさんのヒット曲にかこつけて四つの願いを申し上げました。「今の自分を生きる」「自分を大切にする」「自分を信じる」「自分を忘れる」の四つでした。このうち「自分を信じる」と「自分を忘れる」の二つは限りなく重なると思われます。

私たちは心の中に二人の自分がいて対話をしています。この二人が消えた時が自分を信じ、自分を忘れている状態、そう考えられます。皆さんにお願いがあります。試験会場では周りを見渡し「みんな頑張っているなあ」と小さな声でこっそりささやいてみてください。

同じ受験生としての集団の中に埋もれて、「自分が…」という意識が薄れます。平常心に近づけると思いますが。二人の自分が消えれば、不安が生まれる構図が崩れます。先回りしてする心配、それを持ち出す自分も受け取る自分もいなく、意識が集中します。

人生の節目となる出来事には、その時は気づけない奥深い意味があります。その意味に気づくには長い時間が必要です。その後の人生がじっくり時間をかけて決めていくからです。私は人生を応援するつもりで皆さんの受験を応援します。健闘を祈ります。